

令和6年度研修

鋼橋設計・施工

ー基本技術から維持補修までー

共 催 一般財団法人 全国建設研修センター
一般社団法人 日本橋梁建設協会
後 援 国 土 交 通 省
全国知事会・全国市長会・全国町村会

鋼橋の特長は、コンクリート橋に比べて重量の割に高い強度を得ることができ、そのため支間を長くとることができます。また、軽量なため地震による影響も小さくて済みます。

本研修では、鋼橋の計画・設計・製作・架設・維持補修から積算まで鋼橋全般にわたり、経験豊富な第一線で活躍されている技術者（講師）の方々による実践的で、わかりやすい講義を行います。

また、鋼橋に関わる最新技術も短期間に修得することができ、鋼橋建設業務に携わる職員の皆様には大変有意義な研修となっております。

集合研修では、全国から集まった参加者との相互交流、情報交換の貴重な機会として好評を得ています。

当該研修の講義をライブ研修として、リアルタイムでも配信いたします。

皆様のご参加をお待ちしております。

【受講された方々の声】

- ・図や文面だけではわかりづらい部分を写真や動画を用いての講義だったので、イメージがしやすかった。
- ・鋼橋全般幅広い分野について理解ができる研修のため、とても良かった。特に事例紹介の多い講義はとてもわかり易く、良い勉強になった。
- ・本研修は、橋梁に係わる土木技術者にとって必ず受講すべき研修だと思いました。鋼橋の設計から積算、維持・補修まで、必要な知識が満遍なく網羅されており、初心者弥若手技術者でもわかりやすくまとめられていると感じた。橋梁工事の発注者、受注者、コンサル等問わず、今後の業務に生かせる内容の研修だった。

【研修期間】 令和7年1月22日(水)～1月24日(金) 3日間

【研修場所】 一般財団法人 全国建設研修センター 研修会館
〒187-8540 東京都小平市喜平町2-1-2
TEL:042-324-5315 <https://www.jctc.jp/>

当センターのホームページよりインターネットで研修の申込みができます。

※受講経費の助成制度がある県(政令市を除いた市町村職員の受講が対象となります)

集合研修は、青森・岩手・栃木・群馬・〔神奈川〕・新潟・富山・山梨・岐阜・静岡・奈良・和歌山・岡山・山口・徳島・高知・〔大分〕・宮崎の18県。ライブ研修は〔 〕を除く16県。

詳細は、各県市町村振興協会・こうち人づくり広域連合にお問い合わせください。

※厚生労働省人材開発支援助成金(人材育成支援コース)について

当センターでは、事業主の方が申請に必要な、本集合研修に派遣された従業員の受講状況の証明をします。

なお、当該助成金が支給されるかどうかは、各都道府県労働局が研修受講後の支給申請に基づき、審査の上決定することとされています。詳細は、厚生労働省又は都道府県労働局のホームページをご覧ください。

令和6年度研修 鋼橋設計・施工 実施要領

1. 目的 鋼橋の計画・設計・製作・架設・維持補修等に関する総合的な知識を修得する。
2. 対象者 鋼橋の計画・設計・製作・架設・維持補修等に携わる者
3. 募集人数 【集合研修】50名 【ライブ研修】定員はありません
4. 研修期間 令和7年1月22日（水）～1月24日（金） 3日間

【集合研修に関する注意事項】

※通学制です。

※近隣の提携ホテルに、研修生特別料金で宿泊できます。

当センターホームページ又は下記アドレスより予約できますのでご利用ください。

<https://www.jctc.jp/training/hotel>
5. 集合(配信)日時 1月22日（水） 1号館 1階ロビーの教室案内板にて教室をご確認のうえ、9時までに教室へ入室（ライブ受講はログイン）してください。
6. 教科目、講師及び研修場所 （次頁以降参照）
7. 申込先及び問い合わせ先

一般財団法人 全国建設研修センター 研修局 研修担当：吉村・菊地
〒187-8540 東京都小平市喜平町2-1-2
ホームページアドレス <https://www.jctc.jp/>
TEL：042-324-5315 FAX：042-322-5296

※申込方法 【集合研修】インターネット、郵送、FAX
【ライブ研修】インターネット
8. 研修会費及び納入方法

研修会費 69,000円（1人あたり、消費税含）

※請求書をお送りいたしますので、請求書到着後にお振り込みください。

※振込手数料は、ご負担ください。

請求書の発送・納入方法につきましては、
当センターホームページ〔<https://www.jctc.jp/training/kaihi>〕をご確認ください。
9. 申込締切日 令和7年1月8日（水）

【 集合研修 】

10. 継続教育（CPD）について

- ・一般社団法人 全国土木施工管理技士会連合会の継続教育（CPDS）認定プログラム 申請予定
- ・一般社団法人 建設コンサルタンツ協会の継続教育（CPD）認定プログラム 申請予定
- ・公益財団法人 土木学会の継続学習（CPD）認定プログラム 申請予定
（土木学会以外の団体に登録する場合の方法等は、登録申請団体に事前にご確認ください。）

11. そ の 他

- （１） ご持参いただくもの（筆記用具、共済組合員証又は健康保険証、雨具等）。
- （２） 研修受講中の服装及び履物は、研修にふさわしい常識的なものを着用してください。
- （３） 座席の位置や個人差により体感温度に差がありますので、カーディガン等の持参をお勧めします。
- （４） 駐車場はありませんので、自家用車での来場はご遠慮ください。

【お知らせ】

食事については、平日の昼食時のみ、お弁当（税込５００円）の販売を行います。
支払いは、直接販売員へお願いします。

【ライブ研修】

10. 継続教育（CPD）について

- ・ライブ研修は、全国土木施工管理技士会連合会の継続教育（CPDS）認定プログラムではありません。
- ・一般社団法人 建設コンサルタンツ協会の継続教育（CPD）認定プログラム 申請予定
- ・公益財団法人 土木学会の継続学習（CPD）認定プログラム 申請予定
（土木学会以外の団体に登録する場合の方法等は、登録申請団体に事前にご確認ください。）

11. ライブ研修に関するご案内

（１） 動作環境

- ・インターネットを閲覧できる環境（通信料は各自負担となります。）
- ・推奨OS: Windows 10 以降、Mac OSX 10.11 以降
- ・推奨ブラウザソフト: Google Chrome、Microsoft Edge（バージョンは、すべて最新版。）
- ・上記環境に該当しても、セキュリティ環境によっては閲覧できない場合があります。
※研修センターホームページの申込画面にある確認用動画で閲覧できるか、お申込み前に確認してください。

（２） 注意事項

- ・お申込みに当たっては、「WEB研修規約」の内容を確認し、同意の上お申込みください。
- ・動画を録画・キャプチャーすることやSNS等へのアップは禁止します。
- ・サービス利用に当たってのサポートは致しかねます。
- ・申込者のみ閲覧可能とし、視聴ID等の譲渡を禁止します。
- ・受講される人数分お申し込みください。

（３） その他

- ・申込締切日以降、受講に必要な「ID／パスワード」を送信します。
また、申込時に登録された住所に研修テキストを送付します。
- ・研修開始の３日前（土日祝日は除く）までに「ID／パスワード」「研修テキスト」が未着の場合は、ご連絡ください。
- ・ID／パスワード通知後にキャンセルはできません。

12. 修了証書の発行

ID／パスワード送信時に、「学習報告書」を添付いたします。
「学習報告書」に必要事項を記入の上、返信してください。確認後、修了証書をお送りいたします。

令和6年度研修 鋼橋設計・施工 教科目

月日	講義時間	講義時間 (H)	教科目	講義内容	講師
R7 1/22 (水)	9:00 ~ 9:30		開講の挨拶・オリエンテーション		
	9:30 ~ 10:30	1	鋼橋の利点、特徴について ・鋼橋へのアプローチ ・鋼橋の魅力	鋼橋全般について、橋の分類・橋の名称、どのように作られているのかその過程や鋼橋の利点・特徴などをわかりやすく紹介します。	一般社団法人 日本橋梁建設協会 技術委員会 設計小委員会 設計東日本部会 副部会長 大島 昌益
	10:40 ~ 11:40	1	鋼道路橋の計画について	鋼橋の形式選定に関する基礎知識について解説します。鋼橋の構造形式についての概要を説明します。	
	12:30 ~ 14:30	2	鋼橋の計画・設計のポイント ・施工と維持管理に配慮した 鋼橋設計時の留意点	鋼橋に携わる技術者として発注前・後の諸問題を最小限とするための計画・設計上のチェックポイントについて基本的確認事項および不具合事例をもとに解説します。	一般社団法人 日本橋梁建設協会 技術委員会 設計小委員会 設計東日本部会 部会長 段下 義典
	14:40 ~ 16:10	1.5	鋼橋の製作	鋼橋の工場製作の工程の流れに沿って、施工要領、使用機材、品質検査等、必要な基礎知識について解説します。	一般社団法人 日本橋梁建設協会 技術委員会 製作小委員会 製作部会 部会長 株式会社横河ブリッジ 生産本部 生産管理部 部長 萩原 篤
	16:20 ~ 17:50	1.5	鋼橋の架設	鋼橋の架設について、現地状況に応じた架設工法の選定、各工法の架設計画における施工要領・留意点・架設機械、および事故事例と安全対策を説明します。	一般社団法人 日本橋梁建設協会 技術委員会 架設小委員会 副委員長 三井住友建設鉄構エンジニアリング株式会社 建設本部 西部工事部 主管 大下 嘉道
1/23 (木)	9:00 ~ 11:00	2	鋼橋製作の積算	鋼橋製作の積算について、構成・要素等を解説し、積算上の留意点を説明します。	一般社団法人 日本橋梁建設協会 広報委員会 製作積算部会 委員 瀧上工業株式会社 橋梁インフラ本部 企画・原価管理室 室長 松井 正男
	11:10 ~ 12:10 13:00 ~ 14:00	2	鋼橋架設の積算	鋼橋架設と補修工事の積算について、積算の概要説明と積算例題を用いて留意点を解りやすく説明します。	一般社団法人 日本橋梁建設協会 広報委員会 現場施工積算部会長 JFEエンジニアリング株式会社 橋梁事業部 営業部 積算室 室長 中村 信也
	14:10 ~ 16:10	2	鋼橋の防食	鋼道路橋における代表的な3つの防食方法(塗装、溶融亜鉛めっき、金属溶射)について、その選定方法から特徴、製作・施工方法に至るまでの基礎知識を中心に具体的に解説します。	一般社団法人 日本橋梁建設協会 技術委員会 製作小委員会 防食部会 高田機工株式会社 生産管理部 生産管理課 課長 山本 直樹
	16:20 ~ 17:50	1.5	耐候性鋼橋	耐候性鋼材の基礎から、適用事例、採用時の具体的な留意点等を解説し、さらに、最新の新しい技術を紹介します。	一般社団法人 日本橋梁建設協会 技術委員会 製作小委員会 耐候性鋼橋部会長 株式会社横河ブリッジ 設計本部 東京設計第二部 主幹 鈴木 克弥
1/24 (金)	9:00 ~ 10:30	1.5	鋼橋の床版	鋼橋で使用される床版(主にRC床版と合成床版)について、その概要、設計、施工、維持管理について説明します。	一般社団法人 日本橋梁建設協会 床版小委員会 床版技術部会 部会長 瀧上工業株式会社 橋梁インフラ本部 技術統括部 技術企画グループリーダー 松村 寿男
	10:40 ~ 12:10	1.5	鋼橋の補修・補強における 設計・施工の留意点	補修・補強工事の実態、施工事例、古い橋の特異点等を紹介し、補修・補強工事における設計および施工上の留意点を説明します。	一般社団法人 日本橋梁建設協会 保全委員会 保全東日本部会 委員 JFEエンジニアリング株式会社 改築事業部 工事部 第二工事室 門田 徹
	13:00 ~ 14:30	1.5	震災時における補修・補強事例 ー応急復旧から本復旧までー	橋梁の高齢化により保全の時代と言われている現在、地震等による災害以外にも応急対応などが必要となるケースも予想されます。過去の震災での経験を次に活かすために、応急対応から本復旧までの補修・補強事例を紹介します。	一般社団法人 日本橋梁建設協会 保全委員会 保全東日本部会 副部会長 株式会社横河ブリッジ 技術計画室 東京技術計画部 主幹 貞島 健介
	14:30 ~ 14:40		閉講式		

※ 教科目及び講師は、変更することがあります。

< 研修場所 >

一般財団法人 全国建設研修センター
研 修 会 館

※1号館にお越しください。

〒187-8540 東京都小平市喜平町2-1-2

TEL 042(324)5315(代)

FAX 042(322)5296

<https://www.jctc.jp/>



令和6年度に実施する研修の実施計画についてはホームページでご確認ください。

ホームページアドレス <https://www.jctc.jp/>

【メール配信】 メール配信サービス「建設研修のお知らせ」は、あらかじめご登録いただいた方に、募集中のコースなどの情報を随時お知らせするサービスです。
なお、この場合は全ての研修について配信されます。
ご希望の方は、下記 URL または二次元コードよりお申込みください。

<https://www.jctc.jp/training/mail-service>

